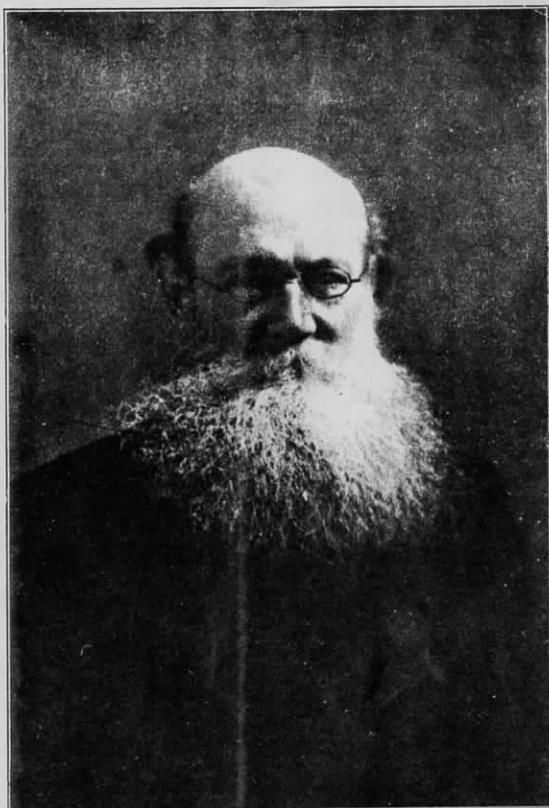


毎月一回15日発行昭和49年9月15日発行・第57号(昭和45年9月4日第三種郵便物認可)

# リベルテール

九 月 号



Libertaire Vol, V, No 10

無政府主義者の機関紙

昭和四十五年九月 四日第三種郵便物認可  
昭和四十九年九月十五日発行第五十七号

リベルテール 定価一〇〇円(郵送料共)

せい いっぱい

小野 二雄

せい いっぱいに生きているとそんなに美しいか、え、  
 そんなものは関係ない  
 そうしか生きられない  
 そうやらなくちゃ生きられないから、そう生きてい  
 るのではないか  
 雨に濡れようが  
 どろまみれの足、黒ずんだ手になろうが  
 そんなことはかまったことじゃない  
 生きるんだ  
 俺の生きたいように  
 俺の生きたいように生きることがおまえらの邪魔に  
 なるうが  
 せい いっぱい  
 俺にできる  
 俺の生きたいような生き方  
 そうやっておれは生きるんだ  
 死んじまっちゃたっていい  
 その辺で、ゴリゴリ生きてやる

目次

教育雑感	山下末男	1
世界のアナキズム運動		2
横倉君への公開状	白井新平	4
野火		7
過渡期における軍事と育児	清水修一	8
カー『バクーニン』論	(3) マックス・ネットラウ	13

教育雑感

山下末男

「アナキズムには教育論がない。」という言葉を書き聞  
 いた時、僕は在来のアナキズム研究者達が「教育という事  
 を考える力がなかったのか、それともアナキズムそのも  
 のに「教育というもの」がないのか、とまどった。だが  
 どちらの意味であれ、それは良い事ではない、と僕は考  
 える。よし、アナキズムに「教育」というものがないに  
 しろ、現に僕は国家の教育の意図の下で幼少の一時期  
 をすごさなくてはならなかったのだ。国家の教育の意図に反  
 逆するには僕は力が弱い。

アナキストはどのようにして成人になるのだろうか。  
 アナキストだって子供の頃は無知だろう。アナキストと  
 という名称はもっと超自然な現象、超人になづけられた記  
 徴なのだろうか。

アナキストが超人に付された記徴でないならば、やは  
 りアナキストの子供は無知だろうし、成人した後といえ  
 どもその自然は抜けないだろう。アナキストはそのよう  
 な中で教育ということが無視することができただろうか。  
 子供は教育しなければならぬ、というところからではな

く。もし子供が自由を理解し、自由に生きたいと欲する  
 なら、子供とて他人に迷惑をかけることは理解するだ  
 ろう。もし子供が理解することができるとしたら、教育は  
 させられるものとしてとらえるのではなく、より無知の  
 少ない人への道として教育をとらえるだろう。

教育を子供が主体的にとらえるように、今日では学校  
 などでは言われている。しかし、システム化されてしま  
 った教育の大多数は教育する者とされる者をノルマで関  
 係づけている。

教育を社会への門出の準備だととらえ、国家管理化に  
 おこうとする考え方は今も充満している。教育とは、個  
 人のものであり、いかなる外在的力も個人に偏見を作ら  
 せることができないことを主張するのなら、現に国家管  
 理下にある教育のためにも、僕は教育論をもつとはっ  
 きりとした形でもつべきではあるまいか。

更に、「教える」「教わる」という事、理解の契機や  
 理解の対象と理解する人の相互関係、「教えられた」の  
 か、「理解した」のか、この辺も概念的にも理解してお  
 かなければならないのではあるまいか。

教育という言葉をめぐる思いが去来する。

## 世界のアナキズム運動

——世界語 에스ペラントの意義と有効性は、その実用によってこそ明らかにされると思われます。これから、S A T (全世界無民族性協会) のアナキスト・グループの機関誌 "Life - *leena Ligio*" などから興味ある話題を訳して、時々載せるつもりです。(江藤敏和)

自由万歳 / 「これはポルトガルからフランスの同志にあてられた手紙です。」

ついに私は、まったく公然とあなたに手紙を書くことができます。ファシズムは、もうこの地では消えてしまいました。私は、この地の同志たちの最初の集会について、あなたに報告しようと思います。

アナキズム万歳 / カタルニア万歳 / F A I 万歳 / 国際義勇軍万歳 /

一九七四年五月五日、アナルコ・サンジカ員の最初の会合で、こう人々は叫びました。百人以上もの人々が参加しましたが、その多くは、幾年の間ファシズムに対して、武器を持ってさえ戦った、アナキストの活動者です。

次のようなもつとも重要な決定がなされました。  
——労働組合で活動するアナキスト・グループの連合を組織すること。

——CGT (労働総同盟) の機関誌であった新聞 "A Batalla" など、かつての定期刊行物を再発行すること。

——ファシズムに対する軍人の反乱によって創り出された現在の状況に視野を拡張、このあいだのメンバーに参加するためにリスボンに來た数人のスペインの同志の出席を利用して、現在ツールーズに本拠のある F A I との関係を再建すること。

とりわけ「われわれにはいかなる合法性もまったくなかったのだ」ということを、表明しました。

喜びをもって私たちが確認することは、今私たちの前に現れている展望は、ほんとうを言えば、高級軍人の反乱によるものではなく、軍隊の若い下級の兵士の献身によるものである、ということです。

誰もアナキストやアナキーを知らなかったようですが、ここに、この瞬間に、私たちの理想を支持する人民と青年たちが現れつつあるのです。

あなたの シルヴァ

☆ ☆ ☆

スイスの O I R A の同志たちは、アナキズムに関する三つの興味深い本をフランス語で出版した。それは、『ポルトガル・アナキズム運動史への序説』『アナキズムのために』『パリ・コミューンと国家の概念』である。これらを読んで、ひろく知らせることをすすめたい。

☆ ☆ ☆

現在イタリアで、あるいはあらゆる国のリバタリアンの雑誌で、アナキスト同志マリーニを護るためのキャンペーンが、続けられている。かれが起訴されたのは、ネオ・ファシストの挑戦に対して尊敬をもってあえて自らを防衛したという事実による。ネオ・ファシストどもは、ずっと以前に人民によって処刑されたかつての首領、ベニート・ムッソリーニになおあこがれているのである。

☆ ☆ ☆

同志ガリンドは、フランス、リオンの「アテネ・セルバンテス」で、「クロボトキンの生涯と著作」について講演した。聴衆は、大部分が教授と学生だったが、こうして、アナキズムのもつともぬきんでた思想家のひとりであるクロボトキンの基本的な考えを知る機会をもったわけだ。現実には、我々の思想や我々の思想家の著作を公然と知らせることが、たいへん必要である。

☆ ☆ ☆

“Brand” (スウェーデンのアナキストの雑誌) の編集者の活動は、満足させるものだ。彼らは、風刺的な絵やスローガンによって、国内の青年たちの感受性を呼び

さまして、社会の諸機関を物笑いにし、これに抗争することを目ざして、全力を尽している。現代の青年に対しては、解りやすく、興味を引く方法で、理念を提示し、明確な文体で話しかける必要がある。

☆ ☆ ☆

フランスの裁判官による、若いアナキスト・ブイグ・アンティッチの殺害ののち、スペインではファシズムの弾圧が続いている。バルセロナ、マドリッド、ヴァレンシアやその他の都市で、警官は幾人もアナキストの同志たちを逮捕した。あらゆるところで、この悪名高いファシズム体制の残虐性を広く知らせることが、ぜひとも必要である。

☆ ☆ ☆

アナキズム運動は、もつとも古い伝道者のひとりであった。すこしまえ、フランスのボルドーで、困難な病気のすえなくなつた、なつかしい同志アリスチード、ラペールのことである。セバスチャン・フォールの弟子であった彼は、フォールが創始し指導した『アナキストの百科事典』の編集に協力していた。ラペールは、いくつもの

のリバタリアンの雑誌を創始し、フランス・アナキズム運動のもっとも教養ある講演者だった。

## 横倉君への公開状

白井新平

最初の黒連は思想団体も労働組合の有志もアナキ系に総結集した。そこには江東自由から歌川信も、東京一般から山本忠平や高橋光吉も参加していたことになっている。昭和三年の自連の分裂大会には僕は出席していないが、A O 連盟の連中が分裂した黒連一派も共動、江東自由や東京一般の山本忠平ら追いついたことは、近憲の「無政府主義者の思い出し」にも出ている。

横倉君がいつから、あの当時の運動に関係したか知らないが、A O 労働は黒連の流れとみていた。黒連は最初はいわゆるその後の観念派と実践派の共同体だった。分離したのは太平洋労働会議、反政新聞からである。だから黒連、A O 労働者連盟に参加と書いた。

横倉君の「書き洩らされたアナキズム運動史」に魚籃坂の乱斗事件が書かれているのをリベルテールのバックナンバーでよんだ。だからA O にいたのなら黒連系だと思ったのは「その時上田光慶君が「よしやっつけろ」と呼び」とあるから、あの「修羅八荒」の暴れん坊の上田

君が加っているから、黒連系だとしたのである。武良二も村上義博も初期の黒連のメンバーではなかったか？横倉君がA O 連盟ができてからの参加だということは知らなかった。決してデマであり、誹謗にさえとれる、というのをもっと何か言いたかったのだろう。

それより、昨年九月十八日の芝淳忌の録音から

白井 二見を売ったのは、前田君だという話をどこかで読んだが？

上田 そんなことはないよ。

売った？ そんなことはないよ、北浦にしても前田にしてもそんな人間じゃないよ。

それから、萩原、大島、望月の諸氏もそれを否定した。上田 そんなことは絶対ないがね。ただ警視庁にも二見に対して、非常に材料がないので、盛んに俺のところまで聞きにくるほど情報を探し廻っていた。

横倉 二見は掠はやって二見は余り運動していなかった。警視庁は二見のデータを持っていない。ところが僕はその後話をして、森長英三郎著の「史談裁判」第三集から、この件について投書を記した。

横倉辰治によると、二見の逃走中の生活費は前田淳一が主体で、菊岡久利、北浦漢らがみていたが、前田はそれを持って余し、二見を銀座に連れ出し警察に引渡し

たものだとしている。(リベルテール・昭和四六年二月一五日参照)

という記事を付記しておいた。それが気に障ったのかも知れない。だが、歴史はなるべく正確を期さねばならない。多分この前田君のことも、噂話しを、断定的に書きすぎたのではないか。

いまの噂が六本木で上田君の家と近いので、あの魚籃の乱斗の斗志としての上田君にいま一度、魚籃のこと、前田君のことを再確認するため、散歩のついでにブラリと寄った。

「あの魚籃坂の乱斗に君は加ったのだね。」

「うん、あの時の乱斗にいた。」

「あれは一体、原因は何だったのか？ どうもいま考えてみると、芝浦の紹介所での職場争いのように思うのだが。君らの箱番はどこだった？」

「あの魚籃の箱番だよ。顔づけ人夫の権利の争奪戦だ」

「あの頃、俺も魚籃で働いていたが、顔を合わさなかったね。」勿論俺は江東自由の口きさだが、正式の顔付人夫でなく、別にボスがいて、五銭か一〇銭ピンハネされて、一円二〇銭で働いていた。

神山茂夫が遂に死んだが、あの朝、神山が俺を清正公前(電停)の奥の林に呼びこんで、「今日黒連系の

連中と乱斗をやる。君は俺達も有望なメンバーとして、書記に押すことになっているので、一緒に斗ってくれ」と説いた。が俺は大島の関東一般にいては西君のところから通っているのだし、観念アナとは違うが、ボルには賛成しない。悪く思うな、と言って別れた。それからこの二月まで会わなかった。なぜ会ったか、それから五ヶ月どうつき合ったか、それは別に「黒旗の下に」の第三号で書くから省くが、横倉君を知っているか？ 彼がリベルテールにその事を書いているが、先日会った時に、あれは四年の暮だったか、五年の始めだったかとたずねたら「夏だよ、俺は北海道に動きに行っていて、現場にいなかった。夏だった」というので四年の夏だということが明らかになった。俺が大阪から江西君を頼ってきたのが六月だし、五年の夏にはもう競馬の雑誌社にもぐりこんでいたから。

「俺はもうあの頃は掠をやめて、時にA O に行っ土方をしていた。あの頃A O の頭株は だったと思う。」

「俺があの芝淳忌、君は目が悪いから読んでいないかも知れないが、横倉君が黒連、A O にいたと書いたらデマだとか、誹謗だとか、リベルテールで毒づいていたので したが」

横倉君！ リベルテールの20号（47年7月15日）にそう書いてあるね。

愈々この思い出のクライマックスというべき魚 坂の乱斗、当時の意識でアナボルの大決戦の場面になりましたが、正直に言っておかねばならないのは、この現場に私はいなかったことでありませぬ。勿論、三文作家にして、現代の私にとってこの場面を書くのは、それほど至難な業ではありませんが、殊にその乱斗で苦斗した者たちから一方的にしる実験談を聞いています。

僕はこの乱斗の目撃者である。坂の途中で乱斗しているのを、第三者としてみていた。大乱斗となり血塗れに傷いたものが十数人いたことは知っているが、A O側の話は君の書いた通りかも知れぬ。上田君は「箱番の錠前を叩き壊して、中から鶴はしの柄を取り出して各人に渡した」などといの武勇談、話さなかった。

「横倉はその後ムーランにいたのを、俺と北浦が引き抜いて、関西の松竹の企画部長かなんかに据えてやったのだ」

「あとは日活の宣伝部にいたような話だったが」「あの二見のとき、北浦と俺とが事務所を持って映画

和解したという簡単なものではない。だから今頃「無政府共産党」という本が店頭にならぶのだ。

かつての「日本自協」が、日本自協の立場から、資料に基いてより正確な「日本自協史」をものするのは、それが、日本アナキズム運動史とか、日本アナキズム労働運動史とかいう立場でない。中間階級のイデオロギストでなく一九三〇年代の絶対的天皇制下の庶民がいかに斗わねばならなかったか、そして斗ったかの歴史は現在にそして次の世代につながるものがあるからである。権力に斗わねば人民の解放はない。それはアナキズムが明治になって知識として輸入される前から何十年と征服権力に抗して、生命を守ってきたか、その原点は必然的にアナキキーの方向であることを証明するためである。

アキ・ヤマモトはN R Iにおけるペンネームだ。

「自協史」は当然、その最後 において、無政府共産党の実相を、資料に基いて明らかにするであろう。

（一九七四・七・二六）

の仕事をしてきた。北浦に俺は二見が来て相手しない、会わないぞと言っていた。が北浦はどこかで彼につかまっていたのだろう。帝劇で待たせておいて 円都合してやった。前田はまだあの時は同じビルにいなかったのじゃないかね。二見があげられてから、北浦が警視庁に引張られた。俺は、だから、北浦は関係ない、出してくれないと仕事が困ると、ドナリ込んだ。二見を匿した責任があるといつてスタモングシたのだが、ずっと前田ともつき合っているが、そんな男じゃないことは保証する。」

前田君のことは、君に確証があつたのか？

「大沢、秋山氏は数十年間アナキズム運動に献身した実績がある。両氏の挺身で日本のアナキズムは存在保持されていたのだというのは、異議がある。」

「自連と自協の喧嘩は、お互にその非をさとして和解したのだし、敗戦後のアナキズム運動は双方の者が、それに就ても言わずに協力してきたのだ。今更、何も言うことはあるまい」

そうだろうか？ 自連と自協は互にその非をさとして

## 野 火

アナルコ・サンジカリストの機関紙と銘打って『フリーダム』が1号、2号と出された。「単なる理論の遊技者であるイデオログを排除し、行動的ニヒリズムをもって国家権力と不断の闘争を宣言する。」とプロローグで述べ、エビローグでスローガンとして

- 一、工場占拠
  - 一、工場評議会（サンジカ）組織
  - 一、反戦、反権力
  - 一、絶対自由、自由連合主義
- をうちだしている。

☆ ☆ ☆

### 林景明氏を救うために

『知られざる台湾』二五〇円 三省堂刊

『台湾処分と日本人』七八〇円 旺史社刊

右は書店に申込購読されたい。別に『台湾から奪っているもの』支援者たちの声』のパンフあり、二〇〇円、左記に申込みたい。「東京都目黒区下目黒五―三四―一六、林景明氏支援の会」林氏に連帯し彼の人権を守ろう